

小野地域 庁舎建設に関する検討会

【日時】 平成29年4月2日（日） 午後6時～7時30分

【場所】 小野公民館 大会議室

【出席者】 小野地域住民ほか 計17名

【市説明者】 松浦市長、村田副市長、末吉総務部長、石丸庁舎建設室長、竹末庁舎建設室次長、工棟庁舎建設室建設推進係長

【配付資料】 「防府市新庁舎建設について～庁舎建設に係るこれまでの経緯等～」

- 【概要】
- 1) 市長あいさつ（松浦市長）
 - 2) 庁舎建設に係るこれまでの経緯等（石丸室長）
 - ・候補地選定の経緯を中心に説明
 - 3) 質疑応答

【質疑応答の概要】 *各発言は、要旨を簡略化して記載している。

◆質問者1

シンポジウムにも参加したが、あれからどんどころが変わったか。小野地区の現状をどのくらい加味されているかが一番気になる。私もそのうち自動車が運転できなくなる。そのときに新しい庁舎がどのくらい生きてくるか。

●市長

まちづくりは永遠の課題であり、5年10年20年で終わったというわけにはいかない。小野地域の現状は自分なりに理解をしているつもりだが、小野、向島、牟礼の公民館は緊急性を要するので、鋭意、意見を集約いただきながら建設していく。

交通の足ということになると、運転できなくなったとき、富海や大道と違い、小野や牟礼はバスに頼ることになる。

1100年動かない天満宮、110年同じ場所にある防府駅、それに港、まちづくりは動かざるものを中心軸において考えることが大事。なおかつ一貫性が必要。鉄道高架が6キロ、30年前とは隔世の感がある。お金も莫大な金額が投入されている。

市役所はいずれどこかに作らなくてはならないということで検討に入り、場所的にはこちらがいいでしょうねという結論をいただいたので、シンポジウムも開催し、同時に各地区に出向き、これまでの経過の説明に歩き出したところ。

小野地区に庁舎を作るわけにはいかないが、市街地の活性化がひいては小野地区の活性化にも繋がっていくという考えの中で話を進めている。

◆庁舎建設室長

基本的にはシンポジウムのときから大きくは変わったところはない。

シンポジウムのときに、まちの顔づくりという基調講演があった。地域、地域に良いものがある。例えば向島には蓬莱桜とか、小野には地域ですごく汗をかいておられる人がいる。コンパクトシティと言うときに、きちんとコミュニティがないと成り立たない。

コミュニティをつなげてバスが成り立つことになる。

◆質問者 2

今日の資料の「アクションイメージ」の中に縦に緑色の線がある。みどりを中核にした環境づくりをやろうという構想だと思う。防府は整備された南側に比べると北側はまだまだ。徳山に行くと、防府と違い、通りに比較的高い樹木が並んでいる。北側に緑を中心にした環境があれば町のイメージとしても魅力的。非常にいい構想だと思う。

●市長

いずれ市役所を作らなければもたない、貯金している33億円だけでは足りない、面的には、今、市が保有しているだけでは足りない。民間の資金を導入しながら、例えば、ディベロッパーを呼んで、お金はこれだけ、土地はこれだけあります、市役所の機能はこんなものが欲しい、毎年2億円ずつ、60年間、家賃を出しましょう、上にホテルだろうがマンションだろうが老健施設だろうがそれぞれの考えでやってもらっていい。その提案をいただいて審査機関で審査して、この者にしようというように進んでいくのかなあ、と思っている。その中で、今、おっしゃられた水とかみどりとか、防府が持つに相応しい環境を導入していく、また、自動車で動けない人達にはどのような交通機関を活用する方法が取れるのか、これから議論をしていきたい。まずは、駅北に定めて市役所を作りますよという説明をとりあえずさせていただいているというのが今の状況である。

◆庁舎建設室長

今は佐波川からの疎水はほとんど暗渠になっているが、「災害に強い水とみどりのまちづくり」ということで、水路などを活用していくことを構想・計画の中で書いている。

◆質問者 3

「コンパクトシティ」とあるが、今までのコンパクトになっていない。例えばロックシティ。折角、天満宮があるのに、商店街はガラあき。商店街が活性化しないと柱にならない。天満宮を柱にコンパクトシティを考える考え方はないか。

また、新庁舎が駅の前であって、非常に活性化しているという事例があるか。

◆庁舎建設室長

新庁舎の位置からは少し距離があるが、駅と天満宮は防府市の大きな背骨である。商業に関しては、今は車で来るのが中心になっており、物販はなかなか難しいが、製造、ものづくりに近い商業などが考えられないかと思う。庁舎で活性化した事例はなく、新潟県長岡市で市役所を駅前にもっていった事例があるが、それで商業が活性化したかという効果ははっきりと現れているとは言えない。

◆質問者 3

結果的に将来世代に負担してもらい以上、ある程度の経済効果を示さないといけないと思う。

◆質問者 4

市庁舎が北にできれば、道路が非常に狭く、交通渋滞が起きると思うので、道づくりを考えて構想してはどうか。

●市長

どこかに作らなければならないのであれば、若い20代、30代、もっと小さな子供たちがここでよかったなあと思ってくれる場所にしていく責任がある。そのときに道路が狭いという問題があるならば、当然クリアしなければいけない問題。鉄道高架事業でも同様であった。交通の足の確保の問題など、すぐすぐできるものではない、決して急いでいるわけでもないので、様々な課題をこれから解決していきたい。